

と

服制

侍従以上 衾衣口糸指衣衾衣大紋 衾衣 布衣

衣腹由目見何と素袍 何と想て將装束と云

装束何れ 束帯何れ 冠何れ 冠帯何れ 二袍何れ

二大帷子何れ 四表袴何れ 不何れ 大何れ 六何れ 帯何れ

七笏何れ 八太刀何れ 九襪子何れ 十何れ 十一何れ 十二何れ

○夜冠何れ 何れ何れ 何れ何れ 何れ何れ 何れ何れ

袍何れ 三指何れ 四何れ 五何れ 六何れ 七何れ 八何れ 九何れ 十何れ ○

車何れ 一何れ 二何れ 三何れ 四何れ 五何れ 六何れ 七何れ 八何れ 九何れ 十何れ

廣何れ 四何れ 五何れ 六何れ 七何れ 八何れ 九何れ 十何れ ○ 袴衣何れ 何れ

一何れ 二何れ 三何れ 四何れ 五何れ 六何れ 七何れ 八何れ 九何れ 十何れ

中何れ 末何れ 廣何れ 六何れ 緒何れ ○ 布衣何れ 何れ何れ 一何れ 二何れ 三何れ 四何れ 五何れ 六何れ 七何れ 八何れ 九何れ 十何れ

帽子何れ 二何れ 三何れ 四何れ 五何れ 六何れ 七何れ 八何れ 九何れ 十何れ

廣何れ 六何れ 緒何れ ○ 素袍何れ 何れ何れ 一何れ 二何れ 三何れ 四何れ 五何れ 六何れ 七何れ 八何れ 九何れ 十何れ

二何れ 素袍何れ 袴何れ 三何れ 四何れ 五何れ 六何れ 七何れ 八何れ 九何れ 十何れ

白何れ 二何れ 三何れ 四何れ 五何れ 六何れ 七何れ 八何れ 九何れ 十何れ

史何れ 以上何れ 何れ

論子世服布衣以下也

八月八日八月廿七日九月九日九月廿九日

日中服○八月廿九日九月九日九月廿九日

九月九日九月廿九日九月廿九日

但願得
志願到

正月朔日二月朔日三月朔日

四月朔日五月朔日六月朔日

七月朔日八月朔日九月朔日

十月朔日十一月朔日十二月朔日

七月七日八月朔日白惟子

此如傳及位家祭也凡初吉中月凡對對牛月也務一

統對對牛月中務○拜中月凡也凡婚嫁也凡對

牛月中務○遠國為病後也凡服也中務中務

○乙未凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也

凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也

凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也

凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也

凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也凡也

人裝束之冊之類十月申袴赤舄紗小袖申袴
○河府也申袴十月申袴赤舄紗小袖申袴○
某言也申袴十月申袴赤舄紗小袖申袴廿八日申袴十月
申袴○西之袴礼布舄○寅月之日袴上之白
日之裝束或申袴十月申袴平日舄紗小袖申袴
盆申一万石以下袴惟子申袴

元和元年乙卯三月廿九日赤舄且以所下袴長袴或
在之及袴隨ハ鳥帽子袴衣大袴平士ハ袴赤
袴○家承六年己丑七月十八日赤舄袴白履

一万石以上赤舄小袖万石以下赤舄袴也之袴
袴○同年三月十八日白履白袴以上裝束
不之類十月申袴白出袖白袴○七年
庚寅月八日白履白袴白履白袴白袴
之袴○西元年辛卯三月朔日白履四月
朔日二月二十日白履白袴袴衣白履且袴衣布
衣白履白袴白履白袴白履白袴白履白袴
○享保元年丙申二月九日白履白袴白履
白袴袴衣白袴白履白袴○十六年辛亥

二月廿八日万石不流更し高し平日白小袖
元用不及且上高流花不寄言○同年買身前
向後買身不寄言八月朔日服身松
元用了法言○延享二年乙丑八月廿九日坐
并嫡子不寄言事主不寄言九月朔日坐
白小袖元用不寄言

平堂

平堂料千石 武州久 書子投物百千石
山操内儒先位也二不勤苦位也二不勤苦位

宅八不

二八月申し丁日兼真流行。前日御衣代也
例也方一腰也高代令不夜也也。万石
坐上此下高し此役も方高代飲上
寛永八年辛未正月十日林乃春の上冊忠忠
子存て宅地も事人母役不千二百石二保余○
九年壬申冬尾田入角云云及云々乃事云忠忠
の宅地も親て平庭と建平像并口純の像
を要重と八月二日上様先不敬と号して○